

2020 VISION

FIPのビジョン、ミッション及び戦略計画

< 和 訳 >

訳注) 第68回FIP会議(2008年8月29日~9月4日、バーゼル)

目 次

緒言	2
環境分析 外部環境および薬剤師全体をとりまく環境	4
環境分析 内部環境	6
環境分析の結論	7
FIPのビジョン	8
FIPのミッション	9
FIPの3つの戦略目標	11
FIPの4つの戦略的アプローチ	12
6つの中核的運営原則	15
結論	16
別添1	

緒言

初期

国際薬剤師連盟(FIP)は、世界保健機関(WHO)との公式な連携のもと、1912年に設立された、各国の薬剤師・薬学研究者団体のグローバルな連盟である。FIPは、その加盟団体 120 団体を通じ、世界中のほぼ 200 万人の実務者と研究者を代表し、そのために活動している。

医療サービスが拡大し新たな科学的発展が取り入れられていく中での薬剤師への期待とニーズに対応するため、FIP の優先課題は、重点事項と内容の両面で年々変化してきた。1912 年の設立時点では、FIP は主として薬科学に重点を置いていた。FIP はそのミッションを、会議とイベントを通じて、主としてヨーロッパの参加者と指導者を集めることにより果たしていた。

発展

FIP は、その 100 年近い歴史を通じて、文字通りの意味でも比喩的な意味でも拡大した。薬学が変化し、薬剤師という専門職の基礎としての薬剤師業務が出現したことにより、FIP は、医療提供における薬剤師の役割を代弁する者としてグローバルな存在感を持つようになったが、その根本は依然として薬科学にあった。FIP の会員組織は、会議に加え、薬学・薬科学の非常に広範囲にわたるグローバルなネットワークに発展した。このネットワークはその存在感を拡大し続けており、世界の主要な医療、教育、科学機関との連携関係を通じて影響力を及ぼしている。

業績

新しい戦略計画を立案し実施しようとする理由は、過去数年間で達成したいくつかの大きな成果を基礎としてさらに発展させるためである。これらの成果の中で最も大きなものは、FIP と薬剤師および薬科学の役割両方に対する意識と評価を高めたことである。これは、FIP が内部で、また、WHO などの世界の重要組織との相互に有益な連携関係を通じて行ってきた活動によるものである。

連携関係

FIP 地域薬学フォーラムが設立されたことにより、各国・地域で、FIP 加盟団体と WHO 事務局の一層強固な関係の構築が促進された。この協力関係が、WHO の医療計画において薬剤師の役割を高めることにつながった。また、FIP は、世界医療職連合(WHPA)の設立パートナーとして、薬剤師、看護師、医師および歯科医師それぞれが患者ケアにもたらす価値と明らかな貢献を認識しつつ医療従事者相互のニーズに焦点を当てるといった構想のもと、医療従事者をまとめるに際し重要な役割を演じた。将来に向け、FIP はこのような現在の連携関係をさらに深め、世界の他の関係者と新たな連携関係を開始することに取り組んでいる。

職能としての成功

薬剤師の地位向上という FIP の目標は、過去と現在の構想が成功したことにより裏付けられている。2005 年にタイとウルグアイで実施された WHO-FIP 薬局業務規範 (Good Pharmacy Practice) パイロット・プロジェクトでは、明らかな成功が報告されただけでなく、薬剤師業務の実際の変化とそれによる患者ケアの改善も報告された。にせ薬への対策における FIP の活動としては、WHO IMPACT ワーキンググループと会議に貢献している。FIP が「ジェネリック医薬品：WHO 登録基準ガイドライン」の作成に貢献したことについては、WHO によりしかるべく謝辞が記載されている。

科学としての成功

FIP は、世界薬学会議においても成功を収めている。この会議は、薬科学に関するグローバルな情報交換のための場を提供している。薬剤師業務と薬科学に関する FIP の多数の構想が並行して発展してきたことから、FIP では基本的立場を見失うことなく同時に複数の関連分野の展開が可能であることが実証されている。このことは、FIP の新たな展開を薬学教育や医療の人的資源といった分野に伸ばすことに対して特に重要な意味を持ち、そのような活動が有望であることを示している。

将来に備えて

FIP は、次のような成長の思想をもって、将来に向かっている。医療とその提供、また、薬剤師と薬学研究者の役割が変化しつつあることにより、FIP には、これまでの歩みを維持するだけでなく、会員に対して確固としたリーダーシップを示し、それによって、世界の保健衛生にプラスの影響を及ぼすことができるようにすることが求められている。

本戦略文書は、FIP のミッションを可能にするための枠組みと手段を示すことを目的としたものである。最初に外部・内部環境分析が行われ、次に FIP のビジョンとミッションが示されている。戦略目標とアプローチでは、FIP のビジョンとミッションが有効に実施されると思われる方法が説明されている。

環境分析

外部環境および薬剤師全体をとりまく環境

FIP が世界の保健衛生に係る決定に大きな影響を及ぼすためには、世界の医療に影響を及ぼす因子を認識しなければならない。そこで、医療の発展と改善にとって重要な、あるいは将来重要となる、現在の懸念事項および薬剤師全体としての懸念事項を検討するため、外部環境分析を行った。この広範囲にわたる現状調査活動の報告書全文は添付の通り(別添 1 参照)。本文書は FIP のみのために作成されたものであり、FIP 加盟団体の特典として提供される。

- 世界的傾向 本書から、FIP が将来の戦略とそれによる活動を決定する際に考慮しなければならない重要な要素として、次の事項が確認された。
- 人口 1. 人口の要素 - 世界の人口と経済はいずれも成長が続くが、その分布パターンは不均一である。このことが、貧困率、人口の高齢化および都市と郊外における保健衛生の分布に影響を及ぼす。
- 疾病負担 2. 疾病とそれによる負担の要素 - 疾病負担の主な原因には依然として感染症と非感染症の両方が含まれているが、高所得国、中所得国および低所得国では非常に異なる。低所得国では依然として感染症の罹病率と死亡率はるかに高く、非感染症による負担も増加している。
- 医療制度 3. 医療制度の要素 - コスト、アクセシビリティ、および最善のアウトカムが得られる質の高い医療を提供可能であるかについて、世界的に懸念が高まっている。医療従事者不足の進行がこの問題に拍車をかけ、世界の医療提供に影響を及ぼしている。
- 薬剤師・薬学研究者の職能 4. 薬剤師・薬学研究者の職能の要素 - 社会のニーズに応えるためには、研修を受け能力のある薬剤師の数が不足しているか、または分布が偏っていると推測される。これは、世界各地で薬剤師と薬学研究者の教育・研修手法が多種多様であるためである。現在、教育・研修手法は医療制度のニーズの点から精査されているところであり、それによって、経験と調査研究によるエビデンスの両面で、薬剤師の必要不可欠な役割が示されつつある。

産業及びイ
ノベーション

5. 製薬産業およびイノベーションの要素 - 有効性、安全性およびにせ薬に関する疑念が顕著になるにつれて、医薬品に対する社会の信頼は低下しつつあると思われる。それと並行して、イノベーションに対するインセンティブは発展しつつあり、また、多様化しており、官民連携による支援が増加している。

官民連携

6. 連携の要素 - 現在の連携関係から展開する機会として、将来の医療制度を形成する上でますます大きな役割を演じている、さまざまな国際的組織とさらに協力することが考えられる。

環境分析

内部環境

2007年7月に、FIPは、FIPの内部機能の評価と判断を外部機関に委託した。この内部環境分析により、FIPの現在の活動、FIPで働くスタッフとボランティアの役割と限界、およびその極めて多彩な会員のニーズと希望について、幅広い見解が得られた。

次の6つのキーポイントが、FIPの内部機能の複雑さを示している。長期戦略計画の策定に際しては、これらの点が考慮されている。

- | | |
|----------|---|
| さまざまな期待 | ・ FIPの会員としては加盟団体および個人会員のようにさまざまな会員が所属しており、実務に携わる薬剤師と薬学研究者の両方が含まれている。これらのグループによって、ときにFIPおよびその業務に対する期待が「異なる」可能性がある。 |
| 複雑な運営 | ・ FIPの現在の運営構造は複雑かつ広範囲にわたっており、タイムリーで効率的かつ効果的な意思決定を確実に行うための具体的な取り組みが必要である。 |
| 新世代の啓発 | ・ FIPの将来の成功の一端は、ビジョンと参画意識を持つ新世代の有志のリーダーを集め、啓発できるかどうかにかかっている。 |
| 不安定な収入源 | ・ 現時点で、FIPの収入は主として、会費と会議収入の2つによるものである。 |
| 会議重視 | ・ 会議は、会員サービスの役割として、運営参加の場として、また、収入を生む場として、FIPの重点事項の1つである。 |
| 会員の意志の尊重 | ・ FIPは、個人会員へのサービス提供において、加盟団体の構想や役割と不注意により「競合」することがないようにしなければならない。 |

環境分析の結論

前述の外部および内部環境分析は、FIP の将来の活動の指針とする上で貴重な情報源となるものである。これにより、下記の結論が導かれる。

- ・ 医療のグローバル化が進展している。
- ・ 医療はますます患者重視のものになっている。
- ・ 開発途上国と先進国の間の医療サービスのギャップに緊急に取り組む必要がある。
- ・ FIP 内の限られた人的資源と財源の両方に対する要求が高まりつつある。

責務

FIP とその加盟団体は、薬剤師および薬学研究者の国際ネットワークとして、場所（世界規模、地域規模、また、限定された地域規模）や時期にかかわらず、医薬品について議論される場の全てに参加する義務を負っている。この義務により、薬剤師および薬学研究者には、あらゆる地域の医療を改善するため、医薬品と薬剤管理におけるノウハウと専門知識をもって世界の医療に配慮することが求められる。

このような責任から FIP の将来ビジョンが策定され、更に、それを実現するためミッションが採択された。

FIP のビジョン

ライフサイエンスの世紀

20 世紀は物理科学の世紀であったかもしれないが、21 世紀は、人々が健康で長生きするライフサイエンスの世紀になるだろう。100 年も経たずに平均余命は 2 倍に伸び、QOL の問題が重視されるようになった。

健康への欲求

生産的で有意義で満足できる生活を送ることができるかどうかは、肉体的、心理的、精神的健康にかかっている。このような、いつの時代も変わらない基本的欲求である、健康への欲求が FIP のビジョンの基礎であり、この点は、他の医療従事者とその団体、および世界中の人々と共通するものである。

医療は人権

質の高い医療を受けられることは、人権の 1 つである。この権利が、個人の経済的、社会的、文化的、地理的環境の偶然の状況によって影響を受けてはならない。本ビジョンでは、人々の健康を確保するために、医療従事者および専門職の知識と配慮及び協力に基づいた対応を求めている。

薬剤師職能と薬科学に対する期待

本ビジョンは、薬学研究者にとっては、疾患への介入とコントロールに有効で安全かつ必要とされる医薬品と医療用具の探索、開発、試験、製造および提供に尽力することを意味する。医薬品を取り扱う専門職にとっては、本ビジョンは、広範囲の対応と責務が記載され、そのきっかけとなるものである。その内容は、薬剤師業務の高い基準を確立しそれに適合すること、薬剤師業務に関する研究における重要な責任を確認し担うこと、医薬品の有効かつ安全な使用に基づく、持続可能かつ質の高い医療制度を確保するための連携を開始し構築することなどである。薬剤師にとっては、本ビジョンは、あらゆる人々のために、患者第一の医薬品を中心とした医療業務の進歩に尽力することを意味する。

いずれの点においても、世界の医薬品専門家としての薬剤師および薬学研究者の基本的な責務、また、技術と知識を患者のケア向上及び健康のために活用しなければならないという薬剤師・薬学研究者の職業上、倫理上の責任をさらに強調している。このことから、FIP のビジョンは明確で疑念の余地はない。

医薬品に関する何らかについて意思決定者が国際レベルで議論する場合、その場所や時期にかかわらず、FIP は全ての場に参加する。

FIP のミッション

序文

医薬品重視
と患者重視

薬剤師業務は過去 25 年間で、少なくとも先進国では、当初の「製品重視」から「患者重視」へと変化してきた。現在、薬剤師は、医薬品および関連情報が患者に直接、安全かつ有効な形で提供されるようにする上で、ますます重要な役割を演じるようになってきている。さらに、薬剤師は患者教育に参加し、処方医と協力して治療による利益を最大とするために利用可能なエビデンスに基づいて業務が行われるようにしている。しかしながら、多くの公共政策部門では、薬剤師・薬学研究者の職能の役割とその貢献が認識されていない場合が非常に多く、誤解されていることさえある。これは、公共政策部門の多くの人々が、「薬剤師には医薬品の調剤と販売のみに関与し、限られた役割しかない」と誤解しているからである。この誤解は環境や歴史的なものによると考えられる。しかし、外来と入院の両方の患者ケアの現場の背後で起こっていることは、軽視され、看過されている。

患者ケアの
提供

現在、薬剤師は疾患の一次予防から治療モニタリングまでのサービスを直接提供する立場にある。薬剤師の役割には、健康に関する正確で意味のある情報を提供することが含まれる。つまり、今日の薬剤師は、患者ケアの提供者の一人である。薬剤師の役割は、患者に対する薬物療法の適用が、適切であり、最も効果的で、可能な限り安全かつ利便性の良いものであるようにするという役割を、再認識しなければならない。現在、薬剤師は、患者が医薬品によって最善の結果を得られるようにするため他の医療従事者と密接に協力しながら健康を増進し、疾病を予防し、疾病管理に貢献する、キープレイヤーである。

世界に向け
て提唱する
役割

FIP は、薬剤師の世界的な存在感を高め、発言がより届くようにするための支援を行っているが、薬剤師・薬学研究者の職能が世界中で知られ、尊敬されるためになすべきことは多い。FIP 会員の半分は、開発途上国の会員である。開発途上国の薬剤師は負担が非常に重く、公衆衛生上の問題を解決するためのインフラの未整備やわずかな資源の問題に直面している。FIP は、薬局と病院薬剤部の両方で薬剤師が質の高いサービスを提供することの重要性を強調する必要がある。FIP が政府や国際機関に対して主張する機会を増やし、薬剤師が責務とする役割に対する認識と評価を高めることにより、これが達成しうる。FIP は、開発途上国の薬剤師を支援する活動も強化する必要がある。

更に、FIP は、患者を重視し、また、あらゆる医学的ニーズに対して安全かつ有効な薬物療法を受けられるという患者の権利も、重視しなければならない。これには、にせ薬、インターネット薬局の合法性、開発途上国における規制の

不十分な施行、感染症やその世界的流行(国境に関係なく蔓延する HIV/AIDS、結核、マラリア、鳥インフルエンザ、SARS など)といった現代的な問題への対応が含まれる。

将来の医薬品には、その安全性と有効性を最大限に高めるため、臨床薬学の力がこれまでよりも必要とされると予想される。臨床薬剤師の教育が十分に進展し、また、継続的に更新されなければ、薬科学の進歩によって新薬が創成されるという利益の恩恵を十分に受けられないだろう。

FIP のミッション

世界の保健
衛生の向上

前述の FIP のビジョンに基づき、FIP は行動を起こし、結果を出すため、ミッションを策定した。

FIP のミッションは、薬剤師業務と薬科学を進歩させ、世界中で適切かつ費用対効果が高く質の高い医薬品をこれまでも増して探索し、開発し、入手し、また、安全に使用できるようにすることにより、世界の保健衛生を向上させることである。

FIP の 3 つの戦略目標

教育に関する戦略的重点項目の追加

従来、FIP は薬剤師業務と薬科学に重点を置いてきた。しかしながら、FIP の新たなミッションを果たし急速に変化する状況に対応するためには、教育に関する戦略的重点項目を追加する必要がある。このことから、FIP の 3 つの主要戦略目標を設定した。

実務

1. あらゆる場所で薬剤師業務を進歩させる

これは、FIP 加盟団体との継続的な共同作業とコミュニケーションを通じて、医療における薬剤師業務の役割と患者にとっての利益を強調することにより達成するものとする。また、これについては、FIP 薬剤師職能部門ミッション・戦略計画において設定された戦略を指針とする。

科学

2. 薬科学を進歩させる

これは、主として薬科学分野の加盟団体との継続的な共同作業とコミュニケーションを通じて達成するものとする。また、これについては、FIP 薬科学部門ミッション・戦略計画において設定された戦略を指針とする。

教育

3. 薬学・薬科学の教育改革における FIP の役割を高める

これには、現在および将来の労働力のニーズと予測を満たす目的で、薬科学と薬剤師業務に関する教育カリキュラム作成のための適切な枠組みと質的基準を策定するための、FIP と各国・地域の教育組織の共同作業が必要である。

FIP の 4 つの戦略的アプローチ

戦略目標

FIP の 3 つの戦略目標は、適切に計画されたアプローチがなければ達成できない。下記の 4 つの戦略的アプローチは、FIP が前述の 3 つの戦略目標を達成する方法を定めるものである。

連携関係の構築

1. 建設的な連携関係を構築する

FIP の活動の有効性を高めるために、FIP は、価値と利害が FIP と一致しそれを支持する他の組織と、持続可能な連携関係を構築しなければならない。将来、全世界における有効な医療の質と提供能力は、薬剤師業務が医療の中に十分に組み込まれるかどうかにかかっている。このことは、薬剤師業務と薬科学及び FIP が示す価値が正当に評価され、擁護され、取り入れられるような連携関係を見つけ出し、発展させ、確立しなければならないことを意味している。そのような連携関係を有効なものとするためには、薬剤師と研究者に対する、地域的ニーズに基づいた最高水準の専門教育が最も重要である。そのような専門教育が行われていれば、我々専門職は、必要とされ尊敬される専門知識、価値及び能力をそのような連携関係に提供できるようになる。FIP は、そのような連携関係により重要な場で発言することができるようになり、それによって、医薬品の適正使用を主張するための基盤を拡大することができる。連携関係により、FIP のミッションと目標の達成を支援する関係ももたらされる。

実施のためのガイドライン

- ・ FIP のミッション、中核目標および優先事項に最も沿っており、協力的である連携先を選定するための基準を規定する。
- ・ 広範囲の連携先候補を確認し、それぞれを適切な選定基準により評価する。
- ・ 連携先候補にとって有益と考えられる特徴を明確化する。
- ・ 現在の主要な連携先および新しい連携先候補との関係を開始し構築するため、また、FIP のミッション達成のためそのような関係で協力を進めるための、コミュニケーション戦略などを立案し、実施する。

認知度を高める

2. 国際環境の中で FIP の認知度を高める

FIP は、薬剤師業務と薬科学のあらゆる面を代表しそれらに影響力をもつ能力によって重視される組織として、「我々について知ってもらうべきだ」というキャッチフレーズのもとで、国際的な認知度を高めなければならない。このような国際的な認識は、FIP 及び薬剤師・薬学研究者という

薬学専門職が、世界の医療提供にとって必要不可欠な職務とみなされることを意味している。最高水準の薬学教育基準を策定し、実施することにより、FIP が世界の医療における薬学専門職の地位を向上させ、質の高い医療の提供について最高の基準が設定される。FIP は認知度上昇を通じ、世界の保健政策および保健衛生目標(特に医薬品が非常に重要であるもの)の達成に影響力を及ぼすだろう。

実施のためのガイドライン

- ・ キーメッセージを作成する。
- ・ FIP が関連する国際社会においてキープレイヤーとしてのFIPの存在感と認識を確立するためのコミュニケーション戦略を立て、実施する。
- ・ FIP の国際的な存在感を示すものとして、FIP のウェブサイト強化する。
- ・ WHO 地域事務局と当該地域の FIP 加盟団体に対する FIP の影響力を強化するため、フォーラムのコンセプトと活動を評価する。
- ・ 信頼できるパートナー(WHO など)との国際規模のイベント共催を検討する[例：にせ薬について(IMPACT)など]。
- ・ 幅広い関係者の注目を集め、FIP のミッション達成への支援を得るため、2012 年に世界サミットを開催が可能であるか判断する。
- ・ 幅広い関係者の注目を集め、FIP のミッション達成への支援を得るために、2012 年に他の取り組み(年次会議のテーマ、イベント、プログラム内容など)をきっかけや重点事項として利用する方法を決定する。
- ・ 2012 年の FIP 設立 100 周年を、FIP のミッションのために会員からの新たな支援や他の形の支援を得る場として、どのように利用できるかを判断する。

3. FIP のグローバルなミッションを達成するため収入を増やす

薬剤師業務と薬科学を進歩させ薬学・薬科学の教育を改革するためには、人的資源及び財源を著明に拡大する必要がある。この目標を、対象範囲、質的基準および時間的緊急性のある中で達成するためには、FIP は収入源の数と種類を増やさなければならない(会議、会費、製品、サービス、その他収益活動など)。収入の発生は全て、会員へのサービス及び協力団体との関係において、また、WHO の例のような「非営利」組織としての FIP の形態に基づいて、FIP の目的の重要性に従って計画され推進されなければならない。FIP には、会員や協力団体に対して優れた価値を提供できる点が多くある。

しかし、FIP の主要目標を達成するという喫緊の必要性は、依然として現在の収入を超えているので、FIP の収入増加は、その成功のために必要不可欠である。

収入を増やす

実施のためのガイドライン

- ・ ブレーンストーミングセッションを行い、他の国際組織や加盟団体の「最善の方法」を活用することにより、幅広い革新的なアプローチを探索し評価するプロセスを作成、実施する。
- ・ 最も見込みがあると考えられるアプローチ（堅実な事業計画による会員拡大など）を選択し、そのための詳細な目標と戦略を立てる。

4. 有効なコミュニケーションを強化する

FIP 本部、FIP 内部組織（部門、フォーラムなど）加盟団体、個人会員および社会の間に、強力なコミュニケーションネットワークを作る必要がある。薬剤師業務と薬科学における発展と同行の情報を迅速で包括的かつタイムリーに交換、提供するためには、そのようなインフラが非常に重要である。また、これは、薬学・薬科学の教育改革に際しても重要となる。知識社会では、そのような、有効で広く利用でき信頼性とセキュリティが十分な、世界規模のコミュニケーションインフラが、新しい知識の普及、専門業務基準の強化、また、信頼性のある薬学的知識を公共サービスとして利用できるようにするための必要条件である。FIP を通じた有効なコミュニケーションによって、全世界の薬剤師と薬学研究者がその業務、研究および教育における最高の理想と基準に対応する際に、連帯感を持つことが可能となる。

実施のためのガイドライン

- ・ FIP 内の次の分野で目標とする成果を達成するための、包括的な FIP コミュニケーション戦略を構築し、実施する。
 - a) FIP が関連する国際社会内で、FIP の全体的な認知度と存在感を高める。
 - b) 現在の会員と会員候補が FIP の役割、便益および業績を確実に理解するようにする。
 - c) FIP の活動とイベントへの会員および非会員の参加を促進する。
 - d) FIP の会員を確実に増加させる。
- ・ 各加盟団体とともに、有効な情報伝達を目的とした有効な双方向コミュニケーション戦略を策定する。
- ・ FIP の構想や連絡にきちんと回答する加盟団体を評価するためのインセンティブを考案する。
- ・ 世界規模で有効なコミュニケーションを行うための集中的かつ有効な媒体として、ウェブサイト強化する。

6つの中核的運営原則

価値

FIPは、倫理指針に従い、次の6つの中核的運営原則を注意して遵守することにより、そのビジョン、ミッション、3つの戦略目標および4つの戦略的アプローチに着手する。

専門性

FIPのスタッフ及び役員は、薬剤師業務と薬科学の中で必要とされる職能基準の見本となるような形で、FIPの業務を遂行する。

費用対効果

FIPは、その財源を最も効率的かつ有効な形で使用するように努める。

創造性

さまざまな思考プロセス、可能性および代替案を考慮に入れた形で業務を遂行することを、FIPのスタッフ及び役員に対して奨励する。

熱意

FIPのために活動し、また、FIPの活動を推進する者は、プロジェクトや構想を成功のもと完了させるため、熱意を持って活動に専念する。

透明性

FIPはオープンな形で、内外からの評価のもとで、活動する。

柔軟性

世界の保健衛生、医療および患者の期待が常に変化していることから、FIPは、現在と将来両方の需要と課題に対応できるような形で活動する。

結 論

FIP のビジョン（光）が FIP のミッション（プリズム）を通過して屈折する。そして、ミッションが3つのFIP戦略目標（スペクトル）と4つのFIP戦略的アプローチによる達成として映し出される。

FIP は、このような戦略目標と戦略的アプローチによって、更に、参画意識を持つ加盟団体に支持された活力ある組織と統治をもって、ビジョン 2020 を実現しなくてはならない。